

武蔵野市議会だより

No.368

発行日 平成29年(2017年)11月1日

発行 武蔵野市議会

東京都武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1883(直)

FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 一般質問 …… 2-3面
- 議案等審議結果一覧 …… 4面
- 政府等への意見書 …… 4面
- 陳情審議結果 …… 4面

第三回 市議会定例会

第三回定例会は、九月五日から九月二十日まで開催されました。
今議会では、二十一人の議員による一般質問が行われたほか、平成二十八年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定についてなど十件の市長提出議案、議員提出議案の武蔵野市長の在任期間に関する条例が審議されました。

平成二十八年度水道事業会計利益の処分及び決算を可決・認定

九月十四日の建設委員会の審査を経て、同月二十日の本会議において、平成二十八年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算が全会一致で可決・認定されました。

水道事業報告の概要は次のとおりです。
財政状況は、収益的収入および支出として二億五千七百二十九万二千円の純利益となりました。また、資本的収

入は工事負担金および他会計負担金で二千五百五十三万一千円となりました。資本的支出は建設改良費および企業債償還金で七億八千九百八十三万六千円となりました。このため、資本的収支の不足分については当年度分損益勘定留保資金や積立金等で補填しました。
また、市長から、今後も引き続き安全な水の安定供給に努め、老朽管の更新、配水管・補助管等の新設整備、浄

水施設の適切な維持補修を行っていくとともに、都営水道一元化を目指し、協議に必要な準備を進め、サービスの向上と経営基盤の強化のためになお一層の努力をする、との説明がありました。
水道事業決算の監査を行った監査委員からは、都営水道事業との一元化に向けた取り組みをさらに一層推進し、市民の信頼に応え、安全でおいしい水を確実に供給し続けられるよう不断の努力を期待する、との意見がありました。

一般会計予算を補正 給食調理施設を整備し、 児童生徒数増加に対応

九月十一日からの各常任委員会の審査を経て、同月二十日の本会議で、「平成二十九年度武蔵野市一般会計補正予算(第二回)」が全会一致で可決されました。

今回の補正予算は、歳入・歳出それぞれ三億五千七百七十三万四千円を追加し、総額を六百四十一億二千三万九千円とするものです。

歳出の主な内容は、固定資産税・都市計画税の課税誤りに伴う還付、私立幼稚園等の一時預かり事業実施園の増加に伴う助成拡大のほか、桜堤調理場等の整備などに必要な財源措置を行うものです。

桜堤調理場等の整備については、人口推計上、児童生徒数の増加が見込まれているため、桜堤調理場のほか、本宿小学校および第三小学校の給食調理施設の整備に向け、補正を行うものです。

市議会議員補欠選挙結果

平成二十九年十月一日に市長選挙と同時に行われた市議会議員補欠選挙において、ひがしまり子氏が当選しました。詳細については三面をご覧ください。

Photo Gallery

フォトギャラリー

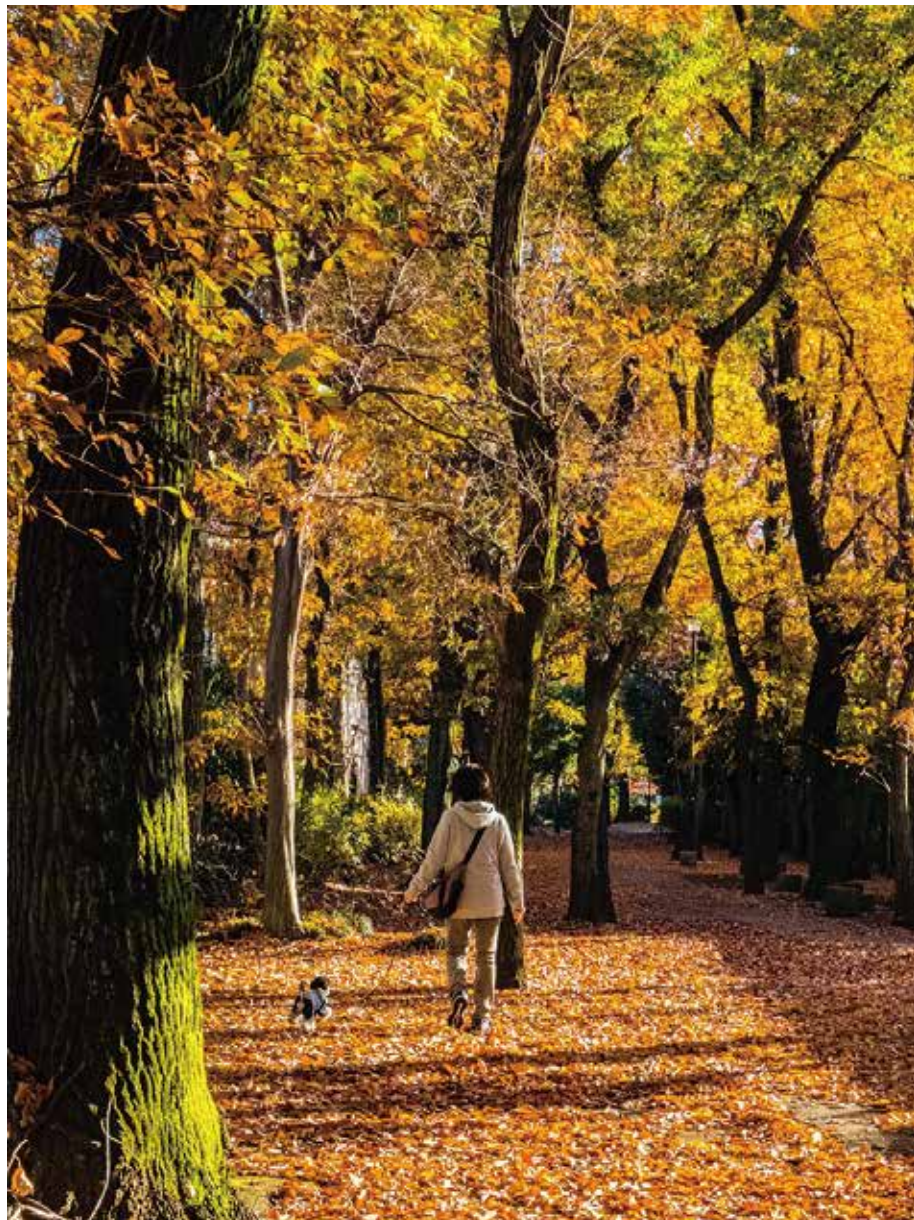
写真
募集中!

「赤いじゅうたんの遊歩道」

撮影：写遊「どんぐり」所属 山下 倫一（武蔵野市）

場所：本村公園付近の遊歩道（2016.12.6）

この場所は好きな散歩道の一つですが、特にけやきが多く、紅葉の頃は道が赤いじゅうたんのようになります。この日は風が時折強く吹き、遊歩道がけやきの落ち葉で覆われ、そこに夕日が当たり美しい光景でした。



1面写真募集要領〈次回の締め切り 1月16日〉

- 内 容：武蔵野市内（隣接する地域を含む）で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品（カラー）に限ります（明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください）。
※インターネット、ツイッター等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示（例えば、コミセンや学校での展示など）は未発表とする。
- 規 格：①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り
②デジタルデータの場合
・ファイル形式 J P E G形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審 査：議会広報委員会が審査します。
- 発 表：採用された作品は、2月1日発行の市議会だよりに掲載する予定です。（紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのでご了承ください）
- 著 作 権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、市議会だより掲載後6か月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限：1月16日（火）当日消印有効
- 応募方法：撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記の上、下記まで先までご応募ください（作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります）。
- あて先：〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28
武蔵野市議会事務局市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで
（上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください）



一般質問

第3回定例会では9月5日、9月6日、9月7日に21名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、11月中旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月14日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

学校制度の在り方に対する考えは



深沢達也議員

- 問** 現行の義務教育6・3制への評価は。
- 答** 教育レベルの維持向上を支えてきたが、心身発達の早期化や学習方法の変化等を踏まえ、9年間の枠組みの中で、教育課程上の区分を柔軟に検討する必要がある。
- 問** 小中一貫教育に関し、①小中連携の進捗状況は②施設一体型小中一貫教育に発展させる理由は。
- 答** ①今年度は小中連携教育研究協力校を11校指定し、研究を進めている②子どもを取り巻く環境が複雑さを増す状況に対応するため、小・中学校が連携をさらに発展させることが大切であり、施設一体型の場合は連携の視点で多くの利点があると考えます。

消滅可能性自治体である7つの友好都市と移住交流事業を



竹内まさおり議員

- 問** 地方の消滅と東京の老化に対応するため友好都市とのC C R C *連携の可能性は。
- 答** 友好都市の山形県酒田市では日本版C C R C構想の導入が検討されており、中間報告では移住者100人の受け入れにより年間約1億8千万円の消費が見込まれると試算されている。今後情報交換をしながら、本市としても何ができるか研究を進めたい。
- 問** 友好都市とのIターン・Uターン連携の可能性について見解を伺う。
- 答** 友好都市からの依頼に基づき現在もチラシの設置等を行っている。ホームページやSNSを活用した情報発信など、可能な連携の在り方を今後研究していきたい。
※元氣なうちに地方に移住し、必要ときに継続的に医療と介護のケアを受けられる生活共同体

自助・共助を支える防災対策の充実を



落合勝利議員

- 問** 災害時用トイレの設置場所などの周知が行き届いていないと考えるが見解は。
- 答** 啓発の機会が少なく、さらなる周知が必要と考える。市報、防災訓練、職員による防災講話などを通じて周知を図りたい。
- 問** 災害時用トイレの備品の点検の状況は。
- 答** 防災訓練実施の際に点検を行っているが、不定期で十分ではないため、点検の在り方を防災協会とも連携して検討したい。
- 問** 避難所運営においては女性や乳幼児に対する配慮が必要と考えるがいかか。
- 答** 男女別のトイレや更衣室などの施設整備、物品整備とともに、見回り班などの配置、夜間照明の設置などに努めたい。

成年後見制度のさらなる利用促進と予防接種の公費助成を



浜田けい子議員

- 問** 市民後見人育成の現状と課題を伺う。
- 答** 19名養成し3名が活動中である。養成講座へ推薦する仕組みを構築したが、トラブル等の困難を担えるかという課題もある。
- 問** 介護職の方への成年後見制度の理解や啓発のための説明会実施など対象者の早期発見による制度利用促進を求めるが見解は。
- 答** 対象者への個別説明のほか地域包括支援センター等を通じケアマネジャー等へチラシを配布しているが、さらなる制度の利用に向け普及啓発の手法を考えていきたい。
- 問** ロタウイルス予防ワクチンの接種について公費助成すべきと考えるが見解を伺う。
- 答** 26市での事例はないが今後研究したい。

3期12年の邑上市長の政治姿勢は



山本あつし議員

- 問** 市長就任当時と比べ財政状況の評価は。
- 答** 平成16年度末では借入金で基金を約191億円上回っていたが、12年間で基金は195億円の増、借入金は59億円の減である。
- 問** 議会への行政報告について、前市長時代と比較した具体的な変化を伺う。
- 答** 退職前の5年間を比べると、前市長時代は198件に対し、今回は460件である。
- 問** 市長との政治的距離感が議会会派や議員との対応に影響しなかったと記憶しているが、その政治姿勢について見解を伺う。
- 答** 二元代表制としての関係の中で、市長を選挙で応援したか否かにかかわらず、是々非々で臨み、議論を重ねてきた。

妊娠期からの支援強化と、子育て環境全体の把握を



笹岡ゆうこ議員

- 問** ゆりかごむさしの事業について、①事業の評価は②専門職員の増員が必要では。
- 答** ①母子手帳交付時の面接件数は約7倍増で、支援が必要な妊婦の早期把握・支援につながった②評価が高い一方で業務負担が大きく、さらなる体制整備が必要である。
- 問** 母子手帳交付時の他に就学前家庭調査を実施し子育て環境全体の把握が必要では。
- 答** 多くの機会で見解を集約し、第五次子どもプラン策定等に活かしていく。
- 問** 吉祥寺グランドデザインの改定にあたり、子育て当事者の声をどう反映するのか。
- 答** 若い世代が関心を持てるまちづくりを進め幅広い世代が参加できるよう検討する。

一人ひとりの尊厳を守るLGBT施策の推進を



西園寺みきこ議員

- 問** 各種申請書における不要な性別記載欄の削除について進捗状況を伺う。
- 答** 平成27年度から削除を進めており、26の申請書のうち17種類削除をした。残る9種類は今年度内に削除する予定である。
- 問** L G B T当事者への支援拡充のため相談窓口の設置や交流会の開催をすべきでは。
- 答** 今年12月の人権週間に合わせて、L G B T電話相談の実施を検討している。
- 問** 同性パートナーと家族関係にある方に対し、急病などの際に備えてパートナーシップ証明書を発行すべきと考えるが見解は。
- 答** 他自治体の導入効果を見ながら、今後検討すべきものと考えている。

優先整備路線武3・4・24号線の現状と今後は



下田ひろき議員

- 問** 平成28年第1回定例会での答弁同様、現在も優先整備路線武3・4・24号線を早急に整備する必要はないと考えているか。
- 答** 五日市街道の渋滞対策の解決策が未定であるため、五日市街道までの路線整備は現時点でも急ぐ必要はないと考えている。
- 問** 武3・4・24号線の整備にあたり縮小する、花の通学路等の緑地の代替地確保は。
- 答** 都市計画道路に沿った形で代替地確保と自然環境の検討を都に要望したい。
- 問** 武3・4・24号線の計画にある生産緑地の所有権は、現在も地権者にあるのか。
- 答** 花の通学路に隣接する生産緑地の8月30日時点での所有権は地権者にある。

障害者が地域で暮らすために住まいと医療機関の充実を



山本ひとみ議員

- 問** 障害者が安心して地域で住み続けるために、グループホームや入所施設の設置が欠かせないとする。住まいの問題について、市の考え方と整備方針を伺う。
- 答** 身近な地域に障害者支援施設を整備するほか、グループホームや在宅生活等の選択肢が増えることで、状況に応じた地域生活を送ることができると考える。
- 問** 障害者が安心して医療機関にかかれるように、医療従事者への研修の充実や拠点施設化等のサポートはどう検討しているか。
- 答** 高齢者分野での医療と介護の連携を、障害者分野へも拡大に向け検討中だが、研修方法等は関係機関と協議する必要がある。

公園や小学校における屋外トイレの整備を



堀内まさし議員

- 問** 公園利用者以外にも屋外トイレ需要はあるが公園への設置の基本的な考えを伺う。
- 答** 近隣居住者の合意等、設置条件にすべて該当した場合に限り検討し設置している。
- 問** 利用者も要望しているが、東エリアの公園へのトイレ設置の可能性について伺う。
- 答** 設置の原則を定めており、利用状況の変化を加味し今後研究できればと考える。
- 問** 小学校の屋内トイレの更新は進んだが、屋外トイレの更新について今後の方針は。
- 答** 衛生上の観点から課題もあり、現状の施設を更新していくのか、校舎の中にあるトイレを屋外からも使用できるように整備していくのか、検討していきたい。

ユニバーサルデザインのまちづくりで健康寿命の延伸を



大野あつ子議員

問 超高齢化社会におけるムーバスについて路線を総合的に見直す考えはあるか。

答 約20年の実績により地域に定着していること等から、大きく見直す考えはない。

問 2025年問題に向けて、ムーバス利用に不便を感じている高齢者等に対してはどのように支援していくのか伺う。

答 レモンキャブの利用を勧めているが、値下げによるタクシー利用も見込まれる。

問 ムーバス路線よりさらに細かい地域を担う公共交通の整備について見解を伺う。

答 タクシー事業者との連携や規制緩和等の国の動きに注視しながら公共交通としての移動手段の体系的な充実に努めたい。

平和施策の継続とさらなる発展を



しばみのる議員

問 市民による戦争体験集の編さんや戦争写真展などを継続し、平和の大切さを市民に広く伝え続けていただきたいが、見解は。

答 市民参加で実施してきた数々の平和施策の継続的な実施や、海外との市民交流の充実も平和の取り組みにつながると考える。

問 政府に核兵器禁止条約締結を行うよう、さまざまな機会に求めてほしいが、見解は。

答 市が加盟する平和首長会議では、条約の早期発効を求め決議したが、他の首長等と連携し、平和の大切さとともに訴えたい。

問 憲法手帳を今後も作成すべきでは。

答 憲法の意義を再確認する絶好の機会であり、継続的に実施したい。

食や食育を通した地域コミュニティのこれからについて



斉藤シンイチ議員

問 コミュニティ食堂などの地域との共催事業や、とりわけ地域が主催する活動に対し、どのような支援が考えられるか伺う。

答 地域の主体性を尊重しながら、市立小・中学校を通じた広報や財団を通じた助言と支援を行うなど、地域の担い手が広がるような必要な支援を検討していきたい。

問 小中一貫教育について12月に無作為抽出アンケート等による市民意見を聴取する予定となっているが、小・中学校各PTAや教職員も含めた現場の声も聞かすべきでは。

答 教職員をはじめ広く多様な意見を集めたいと考えている。頂いた意見は検討委員会に報告し、検討の参考にさせていただく。

小学校はコミュニティの核 学区域変更を拙速に進めるな



内山さとこ議員

問 大野田小学校の学区域変更案について、地域住民、団体への説明状況を伺う。

答 説明は途中だが、児童数増加と教室不足については一定の理解を頂いた。地域社会の意見を聞きつつも、学校教育の水準の維持を第一に、知恵を絞って考えている。

問 住み慣れた地域で在宅で暮らし続けるために、①みとりも含めた医療と介護の連携の必要性は②認知症高齢者の探索・発見に関し新たな事業の導入についての考えは。

答 ①在宅療養には状態に応じたサービス提供が必要であり、ニーズ対応に向け医師会等と協議する②より効果が高く安心して利用できる支援方法を研究すべきと考える。

武蔵境駅北口市有地有効活用事業における答弁の訂正を



木崎 剛議員

問 武蔵境駅北口市有地有効活用事業のアドバイザー契約時期について、第2回定例会の一般質問時においては明確に訂正せず、その後の総務委員会で訂正している。答弁にそこがあると思うが、一般質問の答弁に対しても訂正はしないのか。

答 契約時期は一般質問の答弁でも訂正しており、答弁にそこはないと考えている。

問 交流事業について学校への植樹を通じた交流も必要と考えるが、今後の展開は。

答 交流する双方がウィン・ウィンの関係になることを基本に、時代のニーズに合った事業を行いたい。また記念植樹を行ってきた交流の歴史も子どもに伝えていきたい。

浸水被害におけるさらなる対策の強化を



きくち太郎議員

問 吉祥寺北町に大型雨水貯留施設が設置されたが、8月19日の集中豪雨で浸水被害が出た。落ち葉等がグレーチング*に詰まったとの情報もあるが、浸水被害の原因は。

答 雨水貯留施設の容量は4,500立方メートルだが、2,309立方メートルの雨水が入った。落ち葉等がグレーチングを塞ぎ、流入量に影響した可能性は否定できない。原因を再度検証し、対策を今後検討したい。

問 浸水被害が出る前に人員を派遣する必要があるが、警備会社の利用等の見解は。

答 土日も含め市職員が現場へ向かうには時間差が生じる可能性があり、民間会社や市民との協力体制を再構築する必要がある。※道路の側溝や排水口などに用いられる格子状のふた

市長交代にあたり、懸案事案の今後の方向性は



深田貴美子議員

問 都水一元化後の地下水と都水の割合は。

答 地下水は大切な水源であり、引き続き利用されるものと考えている。

問 水道水の2割を都から受水する際の①施設整備と受水費用は②本市の負担金額は。

答 ①都が経費を適正に回収できる料金体系の導入に向けて平成21年度から継続的に協議中である②都の示す額と本市の考える額に差額があると認識している。

問 市長交代後の①小中一貫教育制度の導入と②学校施設整備についての見解を伺う。

答 ①まずは教育委員会主体で検討すべきである②教育機能だけでなく、福祉機能、地域社会発展機能も併せて検討を進める。

武蔵野アール・ブリュット のさらなる発展等について



蔵野恵美子議員

問 国や都と連携し本市のアール・ブリュットのさらなる展開へつなげるべきでは。

答 実行委員会を中心としながら、国や都をはじめ、他の地域とも連携していきたい。

問 福祉的側面から芸術的側面を主体としたアール・ブリュットの拡大に伴い、担当課を超えた取り組みが予想されるが見解は。

答 文化事業団を担当とすることや吉祥寺美術館の事業への位置づけ等を考えている。

問 地域と共生する保育園を目指し、複合型施設の開設やコミュニティコーディネーターの配置を提案するが、見解を伺う。

答 開放的な施設の可能性を追求し、地域に受け入れられる方法や支援を研究したい。

基金を活用し介護保険料の値上げ抑制を



橋本しげき議員

問 介護給付費等準備基金等を活用し、介護保険料の値上げ抑制を求めるが、見解は。

答 基金を活用して保険料の過剰な上昇を抑制する必要があると考える。

問 次期介護保険事業計画策定における介護施設の整備に関する議論の状況を伺う。

答 医療機能を併設した小規模多機能型居宅介護等の施設や、地域密着型の小規模特別養護老人ホームサテライト、認知症高齢者等の増加に対応する認知症対応型共同生活介護グループホームなどを検討している。

問 介護サービスに対する市の姿勢を伺う。

答 今までのサービスを維持し、さらに充実させる方向で考えていくべきである。

新議員の紹介



ひがしまり子(51)

- ① 所属常任委員会：総務委員会
- ② 議会選出の各種委員等：青少年問題協議会委員
- ③ 所属会派：自由民主・市民クラブ
- ④ 住 所：境2-6-27-206
- ⑤ 電話番号：54-3555
- ⑥ E-mail：higashi.mariko@taupe.plala.or.jp
- ⑦ ホームページ：https://ameblo.jp/higashi-mariko/

次期長期計画策定へ生かすべき策定方式の評価と課題は



川名ゆうじ議員

問 次期長期計画策定に生かすべきこと、再検証すべきことを含めて、現状の策定方式について評価と課題を伺う。

答 市民・議員・職員参加による策定、実行性・規範性の高さなどが優れた特徴だが、若い世代の参加は少ないと考える。市民参加の手法をさらに工夫していきたい。

問 マンホールのご当地デザインを楽しむ人が増えている。下水道への関心を高めるため市民とともにデザインを作り直しては。

答 用途によってどのようなデザインが必要なのか今後議論していきたい。このほか、選挙公報のインターネット公開についての質問がありました。

外国人旅行者に向けた多言語対応の状況は



藪原太郎議員

問 吉祥寺フリーWi-Fiの電話サポートが日本語のみでの対応だが、今後、多言語対応の予定があるのか伺う。

答 今年度中に英語での電話対応を開始する予定でありメールはすでに対応している。

問 東京都オリンピック・パラリンピック準備局が、多言語対応の必要性を訴えているが、本市での考え方について見解を伺う。

答 これまで多言語対応を進めており、取り組み方針でもさらに推進するとしている。

問 QRコード等のICTを利用した案内を検討してはどうかと考えるが見解は。

答 新しい情報発信ツールを活用した事例を研究し本市に適した強化策を検討したい。

議案等審議結果（議決）一覧

第3回定例会

【市長提出議案(10件)】

- 武蔵野市立北町高齢者センター条例の一部を改正する条例
※武蔵野市立北町高齢者センターに隣接する旧山崎邸において、コミュニティケアサロンの1事業として「子育てひろば」を行うこと等を定めるもの。可決(全会一致)
- 武蔵野市福祉型住宅管理条例の一部を改正する条例
※45歳未満の夫婦および20歳未満の子により構成される世帯用に「子育て世帯用住宅」を新設等をするもの。可決(全会一致)
- 武蔵野市市営住宅条例の一部を改正する条例
※法改正に伴い、引用している条等の改正をするもの。可決(全会一致)
- 市道路線の認定について
※都道の移管に伴い、市道第316号線として認定するもの。可決(全会一致)
- 女子大通り幹線管渠更生工事請負契約
※下水道長寿命化計画に基づき、女子大通り路面下の下水道管の内面被服を施工するもの。契約金額は2億3,760万円。工期は平成30年2月28日まで。可決(全会一致)
- 平成28年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
可決及び認定(全会一致)

- 平成29年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回) 可決(全会一致)
- 平成29年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
- 平成29年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
- 平成29年度武蔵野市一般会計補正予算(第3回) 可決(全会一致)

【諮問(3件)】

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
※人権擁護委員に吉安晶子氏を再度候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。異議なし(全会一致)
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
※人権擁護委員に西上原節子氏を再度候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。異議なし(全会一致)
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
※人権擁護委員に伊藤恵子氏を候補者として推薦することについて市議会の意見を求めるもの。異議なし(全会一致)

【議員提出議案(1件)】

- 武蔵野市長の在任期間に関する条例
※市長の在任期間が連続して3任期を超えないよう努めることを定めるもの。第2回定例会で継続審査となっていたが、今定例会で否決されました。否決(賛成少数)

【動議(1件)】

- 東京都保健医療計画改定に当たり、武蔵野市の地域医療資源を適正に配分することを求める意見書提出に関する動議 可決(全会一致)
- 各議員の議案等に対する賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

政府等への

意見書

東京都保健医療計画改定に当たり、武蔵野市の地域医療資源を適正に配分することを求める意見書

武蔵野市は、平成二十六年に成立した「医療介護総合確保推進法」を受け、「地域医療の在り方検討委員会」(平成二十六年)、「在宅医療・介護連携推進協議会」(平成二十七年)などの取り組みを進め、市町村では任意の扱いとなっている「地域医療構想(ビジョン)二〇一七」にいち早く着手し、今年五月に策定しました。

「住み慣れた地域で安心して暮らす」医療と介護の連携、まちぐるみの支え合いの仕組みづくりに全市で取り組んでいるさなか、平成二十六年十月松井外科病院(急性期病棟九十一床)が病床機能を返上、平成二十九年四月水口病院(急性期二十三床、慢性期二十床)が廃院と、約三年の間に

二カ所で百三十四床減少と、地域医療、とりわけ吉祥寺地区の医療体制にとって大きな打撃をこうむりました。高齢化率が現在二十二・一％に達し、三十年後には三十三・三％超と想定されている武蔵野市において、今後の地域医療のあり方を抜本的に見直す必要に迫られております。

市議会には、市民から多くの不安の声とともに「地域医療と病院機能の維持」に関する陳情が提出され、既存病院の建てかえ・機能拡充の課題とあわせ、執行部とともに将来を見据えた持続可能な対応を協議しているところです。

武蔵野市が属する「北多摩南部保健医療圏」においては、既存病床数が基準病床数を五十九床上回り(平成二十八年四月現在)、これ以上の増床は認められない状況です。しかし、東京都地域医療構想二〇一六で公表された医療機能別の病床需要推計(二〇二五年)によれば、高度急性期と慢性期病床は余るものの、急性期と回復期病床は約二千六百床不足し、全

体としても千二百六十二床不足であるとされています。

また、多摩地域を五つに切り分ける保健医療圏と、市民の生活実態が乖離している面も否定できません。「住み慣れた地域で安心して暮らす」ことを目標に掲げている本市として、救急医療や休日診療の体制整備とともに、おおむね五キロメートル圏内で完結する医療体制の整備は、市民福祉に欠かせない切実な課題となっています。

よって、武蔵野市議会は責職に對し、以下を求めます。

一 「東京都保健医療計画」の改定に当たっては、武蔵野市、とりわけ吉祥寺地区における急激な病床数の減少を含む地域事情に十分配慮し、医療機能別病床数の需要推計を踏まえ、医療資源の適正な配分を行うこと。二 市区町村ヒアリング、医師会、歯科医師会、薬剤師会ヒアリング、パブリックコメントなどで寄せられる意見を適切に反映させること。(東京都知事あて)

市議会からのお知らせ

議員辞職について

高野恒一郎議員(自由民主・市民クラブ)が平成29年9月4日付で議員を辞職しました。

総務委員会、議会運営委員会委員の変更について

一部の会派の変更に伴い、以下のとおり新しい委員が決定しました。

《総務委員会》

ひがしまり子議員が新しく総務委員となりました。

《議会運営委員会》

堀内まさし議員と笹岡ゆうこ議員が新しく議会運営委員となりました。

決算特別委員会開催のお知らせ

(第4回定例会)

- 平成28年度の決算を審査する特別委員会
は、第4回定例会にて開催予定です。
- 詳細の日程については、決定次第、市議会ホームページに掲載しますので、ホームページでご確認いただくか(1面下部参照)、議会事務局に直接お問い合わせください。

☎0422-60-1883

全員協議会

左記のとおり、全員協議会が開催されました。
・議事人事について
(平成二十九年十月二十三日)

陳情 審議結果

採扱 吉祥寺地区の医療と病院機能の維持に関する陳情(※)
継続 武蔵野市水道部の地下水くみ上げ減量に関する陳情(※)
(※)は継続審査となっていたものです。

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。

※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ	☎60-1884
堀内 まさし	ひがし まり子
土屋 美恵子	木 崎 剛
小美濃 安 弘	きくち 太 郎
与 座 武	

民主生活者ネット	☎60-1889
藪 原 太 郎	蔵 野 恵美子
西園寺 みきこ	川 名 ゆうじ
深 沢 達 也	

空	☎60-1890
山 本 あつし	笹 岡 ゆうこ
斉藤 シンイチ	

市議会公明党	☎60-1887
大 野 あつ子	浜 田 けい子
落 合 勝 利	

日本共産党武蔵野市議団	☎60-1888
し ば みのる	橋 本 しげき
本 間 まさよ	

むさしの志民会議	☎60-1885
深 田 貴美子	竹内 まさおり
下 田 ひろき	

会派に属さない議員	☎60-1909
内 山 さとこ	

会派に属さない議員	☎60-1944
山本 ひとみ	
※10月10日付で空を退会しました。	

まつ した れい こ 松下玲子氏新市長に就任

武蔵野市長選挙が10月1日(日)行われ、松下玲子氏が新しい武蔵野市長に就任しました。11月から開催予定の第4回定例会で、新市長の今後4年間の施政方針演説と、それに対する各会派からの代表質問が行われる予定です。

本会議の予定は、議会事務局までお問い合わせください。



初登庁セレモニーにてあいさつする松下新市長

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555

メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp

市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/

議 会
事 務 局